



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月5日

上場会社名 平河ヒューテック株式会社
 コード番号 5821 URL <http://www.hewtech.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 篠 祐一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 星 一昭

TEL 03-5493-1711

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	20,636	5.8	2,099	23.4	2,150	22.0	1,530	1.6
30年3月期第3四半期	19,496	5.7	1,700	16.0	1,762	17.1	1,506	10.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,449百万円 (24.9%) 30年3月期第3四半期 1,929百万円 (0.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	108.92	
30年3月期第3四半期	107.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	32,717	24,299	74.3	1,729.81
30年3月期	32,298	23,123	71.6	1,646.10

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 24,299百万円 30年3月期 23,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		9.00		9.50	18.50
31年3月期		10.00			
31年3月期(予想)				13.50	23.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

31年3月期期末配当金の内訳 普通配当金10円50銭 創立70周年記念配当金3円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,400	5.4	2,600	19.7	2,600	19.6	2,000	11.0	142.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	17,627,800 株	30年3月期	17,627,800 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	3,580,310 株	30年3月期	3,580,180 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	14,047,548 株	30年3月期3Q	14,047,635 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直し、設備投資の増加もあり、緩やかに回復しました。

海外経済は、通商問題の影響等により中国景気は持ち直しの動きに足踏みがみられ、米国経済では今後の通商問題の影響が懸念されるものの個人消費や設備投資の増加から拡大基調を維持し、欧州経済も概ね緩やかに回復が続きました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、半導体関連の設備投資は弱含みましたが、電装化の進むカーエレクトロニクス市場は引き続き堅調に推移しました。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、車載ケーブル及びエネルギー産業関連ケーブル等の売上が堅調に推移したことにより、売上高は206億36百万円(前年同期比5.8%増)となりました。銅価格は前年同期比では高い水準にありますが、成長分野への製品の売上が伸びたことにより、営業利益は20億99百万円(同23.4%増)、経常利益は21億50百万円(同22.0%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は15億30百万円(同1.6%増)となりました。

主なセグメント別の業績は、次のとおりです。

(電線・加工品)

車載用ケーブル及びエネルギー産業関連ケーブル等の売上が堅調に推移したことにより、売上高は171億60百万円(前年同期比6.7%増)となりました。銅価格は前年同期比では高い水準にありますが、成長分野への製品の売上が伸びたことにより、セグメント利益は21億17百万円(同22.0%増)となりました。

(電子・医療部品)

医療用特殊チューブの売上は増加となりましたが、ネットワーク機器の売上が減少となり、売上高は33億63百万円(前年同期比1.7%増)となりました。医療用特殊チューブの売上増加により、セグメント利益は3億94百万円(同8.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億18百万円増加し、327億17百万円となりました。主な増加は、有形固定資産のその他(純額)が3億92百万円、機械装置及び運搬具(純額)が3億60百万円増加し、主な減少は、投資有価証券が3億6百万円減少しました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ7億56百万円減少し、84億17百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金が5億75百万円、長期借入金金が5億30百万円減少し、主な増加は、流動負債のその他が3億39百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ11億75百万円増加し、242億99百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益15億30百万円、利益剰余金の配当2億73百万円でありませ

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月8日に公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,683	6,778
受取手形及び売掛金	7,738	7,774
有価証券	294	200
商品及び製品	1,905	1,907
仕掛品	683	706
原材料及び貯蔵品	2,435	2,253
その他	619	747
貸倒引当金	△6	△3
流動資産合計	20,354	20,364
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,761	2,638
機械装置及び運搬具(純額)	3,110	3,471
土地	2,539	2,545
その他(純額)	807	1,199
有形固定資産合計	9,218	9,855
無形固定資産	407	531
投資その他の資産	2,318	1,966
固定資産合計	11,944	12,352
資産合計	32,298	32,717

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,939	2,363
短期借入金	1,300	1,077
未払法人税等	151	318
賞与引当金	51	107
その他	1,027	1,366
流動負債合計	5,469	5,233
固定負債		
長期借入金	1,544	1,013
退職給付に係る負債	1,934	1,978
役員退職慰労引当金	37	39
その他	189	153
固定負債合計	3,704	3,183
負債合計	9,174	8,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,459	1,459
利益剰余金	21,159	22,416
自己株式	△2,339	△2,340
株主資本合計	21,834	23,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	462	304
繰延ヘッジ損益	6	—
為替換算調整勘定	806	894
退職給付に係る調整累計額	13	9
その他の包括利益累計額合計	1,289	1,209
純資産合計	23,123	24,299
負債純資産合計	32,298	32,717

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成29年4月1日 至平成29年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成30年4月1日 至平成30年12月31日）
売上高	19,496	20,636
売上原価	14,807	15,419
売上総利益	4,688	5,216
販売費及び一般管理費	2,987	3,117
営業利益	1,700	2,099
営業外収益		
受取利息	11	28
受取配当金	18	20
為替差益	6	—
その他	44	35
営業外収益合計	80	84
営業外費用		
支払利息	7	6
為替差損	—	15
その他	11	11
営業外費用合計	18	33
経常利益	1,762	2,150
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	307	—
貸倒引当金戻入額	—	5
受取保険金	4	—
特別利益合計	314	5
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
減損損失	—	96
貸倒引当金繰入額	168	—
特別損失合計	171	96
税金等調整前四半期純利益	1,906	2,059
法人税、住民税及び事業税	443	478
法人税等調整額	△43	50
法人税等合計	400	529
四半期純利益	1,506	1,530
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,506	1,530

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	1,506	1,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	△157
繰延ヘッジ損益	—	△6
為替換算調整勘定	290	88
退職給付に係る調整額	△1	△3
その他の包括利益合計	422	△80
四半期包括利益	1,929	1,449
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,929	1,449
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,078	3,306	19,385	111	19,496	—	19,496
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	18	27	—	27	△27	—
計	16,087	3,324	19,412	111	19,523	△27	19,496
セグメント利益	1,735	363	2,099	60	2,159	△458	1,700

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△4億58百万円には、セグメント間取引消去△9百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4億49百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,160	3,363	20,523	112	20,636	—	20,636
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	13	26	—	26	△26	—
計	17,173	3,376	20,550	112	20,662	△26	20,636
セグメント利益	2,117	394	2,512	61	2,574	△474	2,099

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△4億74百万円には、セグメント間取引消去△13百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4億61百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。